

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市榴岡図書館	
2	指定管理者	丸善雄松堂 株式会社	
3	指定期間	平成29年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
4	施設の利用状況	《利用者数》 令和元年度：110,495人団体〔個人：110,296人, 団体・文庫：199団体〕（前年度比 102.1%） 平成30年度：108,175人団体〔個人：107,967人, 団体・文庫：208団体〕 平成29年度：89,403人団体〔個人：89,235人, 団体・文庫：168団体〕	
		《事業》 仙台市榴岡図書館の運営管理	
5	収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額	
		・ 指定管理者に支払った費用	45,232千円 （44,410千円）
		・ その他市が負担した費用	12,349千円 （12,346千円）
		《収入》	
・ 使用料収入	0千円 （0千円）		
・ その他収入	35千円 （35千円）		
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート 実施期間：令和元年12月8日（日）～21日（土） 利用者懇談会 開催日：令和2年2月14日（金）	

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された施設運営上の基本方針に基づき運営管理されており、全館共通の業務や行事は適切に行われている。サービスの質の向上や利用促進のための取り組みもなされている。	24/24
II	施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況、また、施設の開館状況は仕様書に相違なく適切である。指定管理料も適正に執行されている。個人情報の取扱や情報システムのセキュリティ対策についても徹底している。事故防止チェックリストを作成するとともに、広瀬図書館と事故事例を共有し、ヒヤリハット集として整備している。災害発生時の訓練も適切に実施されている。	30/30
III	施設・設備の維持管理	建物及び設備は適切に管理されており、毎日定時に館内を巡回し、事故・犯罪の未然防止に努めている。環境へ配慮した取り組みもなされており、備品も適切に管理されている。	17/17
IV	サービスの質の向上	利用者への丁寧な対応を基本姿勢として、サービスの向上に努めている。利用者アンケートや利用者懇談会から把握できた利用者ニーズについて、可能な限り対応を行っている。研修を受講しやすい環境を整え各種研修へ積極的に参加するとともに、参加者による研修成果を還元する報告も行われている。	27/27
V	施設固有の基準	読書離れが著しいヤングアダルト世代に向けた読書活動推進の取り組みとして、選書サポーターとして学生を募り、ともに選書・展示・広報誌づくりを行うなど、積極的な取り組みを継続的に行っている。また、仙台青葉学院短期大学で、図書館職員がカリキュラムの一つとして講習や図書館実習を行ったほか、他大学でもワークショップの開催や職場体験の受け入れなどを積極的に行っている。	18/16

三 評価総括

《指定管理者（丸善雄松堂株式会社）による自己評価》
<p>1. 令和元年度は指定管理者として「基本方針」と「仙台市図書館振興計画(第2次)」に基づき、地域の教育機関、団体等との連携を促進し、利用者サービスの向上を図るとともに、地域に根ざし親しまれる図書館を目指して業務と自主事業を進めた。資料の配架においても、限られたスペースの中で蔵書数を増やすために文庫本や新書サイズの本を意識的に選定した。また、今年度は運営母体である丸善雄松堂株式会社内にて開催される「KnowledgeNavigation賞」において、大学との連携(司書を目指す学生の職場体験やゼミ生の展示実習等)を評価され「コミュニケーション賞」を受賞した(2015年以來2回目)。</p> <p>2. 自主事業は、計53回(延べ回数)実施した。今年度はアブロードインターナショナルスクールの図書館見学(おはなし会含む)や定例のおはなし会へのタイ人の親子の参加等、地域の国際化が感じられた。またテーマ展示として行った「いろいろなかぞく」が好評のため、一般書と児童書のコラボ展示としてSDGsに関する展示を長期的に実施した。</p> <p>3. 利用実績は、利用者数/日(延べ人数)が9.6人増、貸出冊数/日が33.6冊増、返却冊数/日が25.1冊増、予約冊数/日が12.1冊増となった。当館はインターネット予約からの受取りも多く、自主事業でのPR等含めて当館の認知度が上がり、比例して利用も増えたのではないかと考える。さらに積極的にTwitterによる広報を活用した。</p> <p>4. 教育研修は、図書館総合展や文部科学省の図書館地区別研修にも積極的に参加し、図書館ニーズの把握にも努めた。</p> <p>5. 施設管理は、開架書架の配置換えや見出しの差込みを適宜行う等、より利用者が資料を探しやすいように整えた。また「仙台市公共施設点検要綱」に則して定期的な点検を行うとともに、女子トイレのレバーへの交換等といった施設の維持管理を行った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>図書館事業では、引き続き「みやぎの・まつり」や「エキヒガシ七夕交流会」等地域のイベントに積極的に参加し地域団体やボランティアとの連携を深めたほか、ママ・ココ・フェスティバルでは協力団体として手遊びや大型絵本の読み聞かせを行うなど、幅広い層に図書館のPRを行った。</p> <p>また、読書離れが著しい中高生(ヤングアダルト世代)への読書推進を目的に、中高生の選書サポーターを募集し、中高生サポーターによる図書館の選書・書架の装飾・ブックリスト作成への支援活動を行った。また、仙台青葉学院短期大学や聖和短期大学、尚絅学院大学等の複数の大学と、講師派遣や職場体験受入などで連携を図り、図書館を担う専門職育成に貢献していることは高く評価できる。</p> <p>図書館内においては、文庫本等の意識的な配架による蔵書数増加の取り組みや館内の配置の工夫、SDGsをテーマにした展示の実施など、限られたスペースを最大限に生かして魅力的で快適な図書館づくりに努めた。今後も引き続き、民間のノウハウを活かした事業実施による図書館利用促進への取り組みを期待する。</p>	S

四 その他特記事項

(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局市民図書館